

また、彼らがどんなに辛い状況の中で生きて
も、僕らは彼らの現状を調べる手段があり、
悲しさを味わったことはありません。それで
巻き込まれている子供たちの苦しみや辛さ、
たことはあります。原爆の怖さも、戦争に
が減ってきてつづつあります。僕は戦争を体験し
の日本では戦争を体験したことがある方たち
いかなければならないのです。しかし、現代
我々が戦争はいけないことなのだと言信して
日本は世界で唯一原爆を落とされた国です
きることで精一杯な子供たちがいるのです。
幸せに暮らしてきましたが、世界には毎日生
暇などありません。僕は平和な日本に生まれ
計を立てなければならぬので、学校に行く
リートチルドレンになると、自分で働いて生
職業や収入に関わってきました。そして、スト
教育の機会がないと、子供たちが将来就ける
などで命を落とす可能性があります。また、
べるものがないと体の抵抗力が落ち、感染症
トチルドレンになる子供たちがいます。食

。

、

いるのかを想像することができません。そして誰かにその気持ち共有することができません。今、僕らにできることは、戦争がどれほど悲惨で恐ろしいものなのかを学び、どうして戦争が起きるのか、平和な世界を創るにはどのようなことをしたらいいのかを考えることです。一人一人が戦争はいけないことだという考えを持って生きるということが大切だと思います。僕は、今回の平和作文をきっかけに戦争について調べました。僕の中にあつた漠然とした戦争へのイメージの何倍も戦争が凄惨なものだったことを知りました。そして、子供たちが大人の争いに巻き込まれ、辛い思いをし続けている現状も知ることができました。僕は今まで戦争について何も知らなかったんだというのを痛感したとともに、今回調べたことだけで満足するのではなく、これから戦争と平和について調べ、考えていこうと思

な生活を送られている事、愛情を込めて育ててくれた親に、また、学校で学び、友達と笑い合えている事に感謝して生きていきたいと思
いました。